

学びに向かう力としての「初発の思考や行動」を インサイドアウト思考を復習して解説

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<https://smizok.com/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。
*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の研究委託を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

No335

(中教審教育課程企画特別部会第4/6回) (2025年3月28日/4月25日開催)
ふり返し)

- ①「裁量的な時間」創設可の柔軟な教育課程
- ②「学びに向かう力、人間性等」の発展的提案

溝上 慎一
(桐蔭学園理事長、桐蔭横浜大学教授)

動画チャンネル「溝上 慎一 の教育論」

【別紙】 学びに向かう力、人間性等の今後の整理イメージ（素案）

【現行の整理】

小学校学習指導要領総則解説（抜粋）

児童が「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」に関わる「学びに向かう力、人間性等」は、他の二つの柱をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素である。

（中略）

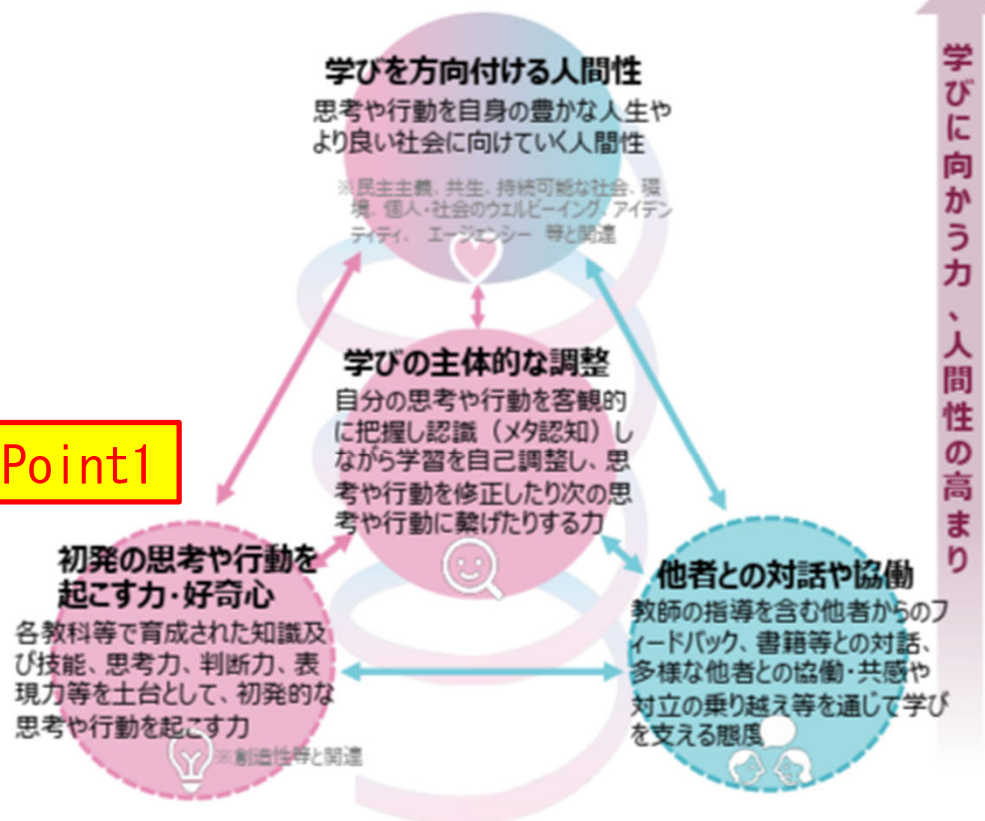
児童一人一人がよりよい社会や幸福な人生を切り拓いていくためには、主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力や、自己の感情や行動を統制する力、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度等が必要となる。これらは、自分の思考や行動を主体的に学習に取り組む態度も含めた学び客観的に把握し認識する、いわゆる「メタ認知」に関わる力を含むものである。こうした力は、社会や生活の中で児童が様々な困難に直面する可能性を低くしたり、直面した困難への対処方法を見いだしたりできるようにすることにつながる重要な力である。

また、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなどの人間性等に関するものも幅広く含まれる。

【今後の整理イメージ（素案）】

変化が激しい不確実な社会の中で、学びを通じて自分の人生を舵取りし、社会の中で多様な他者とともに生きる力を育む

Point1



No190

新著の紹介(コーナー)

溝上の新著『インサイドアウト思考』

創造的思考から
個性的な学習・ライフの構築へ





溝上慎一 (2023). インサイドアウト思考—創造的思考から個性的な学習・ライフの構築へ— 東信堂



第I部 インサイドアウト思考論

第1章 思考とは—認知科学を視座として

第2章 二つの思考様式

—インサイドアウト思考とアウトサイドイン思考

第3章 インサイドアウト思考の身に付け方

第4章 学校教育でも育成されるインサイドアウト思考

第5章 個人的な思考が社会的な思考となるために

第II部 個人化・多様化した現代社会における個性的なライフの構築

第6章 個性的なライフを構築するためのインサイドアウト思考

第7章 知識・技能が社会構造的に継承されなくなった現代で求められるインサイドアウト思考

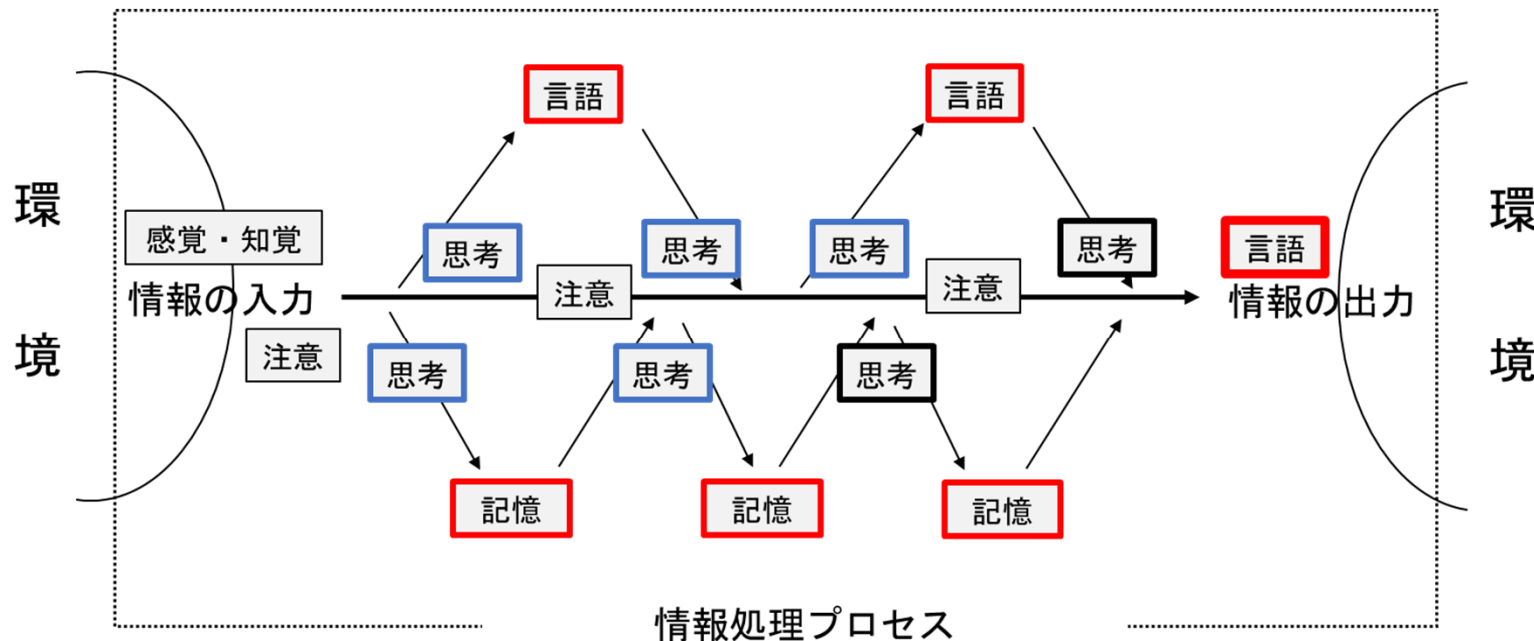
最後に—ウェルビーイング論へ

認知科学を視座とする思考（thinking）

情報処理プロセスにおいて働く認知機能の1つであり、ある状態を作り出す働き、ないしはそれに向かうプロセスを指すもの

認知機能

- ①感覚・知覚
- ②記憶（知識）
- ③思考
- ④言語
- ⑤注意



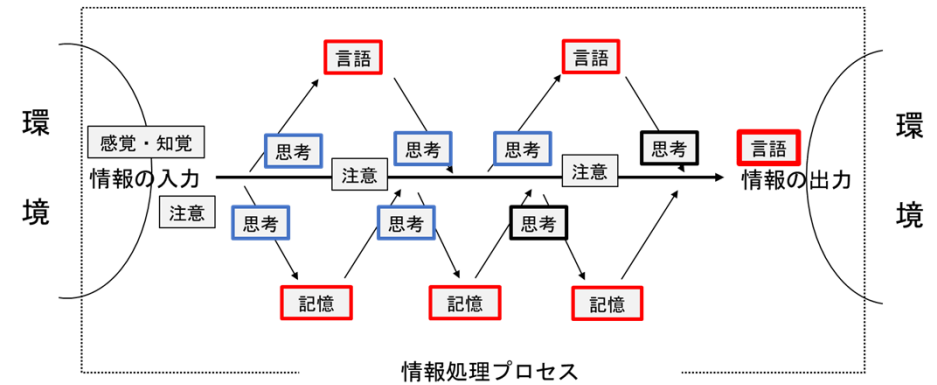
思考…情報処理を推し進めてある状態を作り出す働き、ないしはそれに向かうプロセス

なぜ認知科学を視座とするのか

- ①認知科学では、思考は情報処理を進める認知機能の1つとされる

ex)

「飼っている猫はワンと吠える」(命題推論)



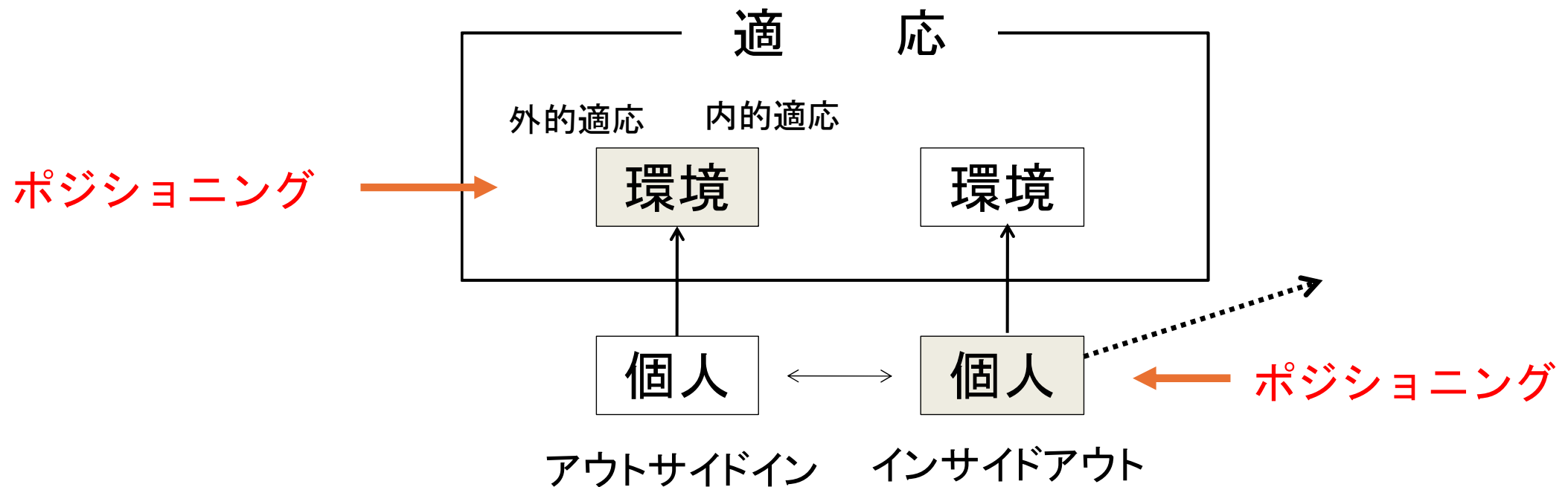
- ②認知科学では、思考はエラーやバイアスを伴う、時に非論理的なものであると見なされる
- ③認知科学では、思考停止の状態をうまく表せる
- ④認知科学では、思考を始めとする人の情報処理が、他者を含めた他者との相互作用を通して、心理社会的に行われることを前提とする。

アウトサイドインとインサイドアウト

Outside-in

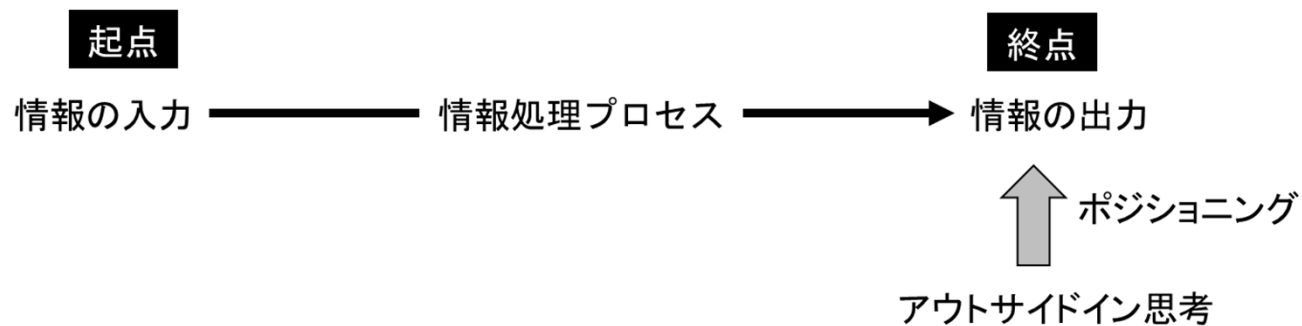
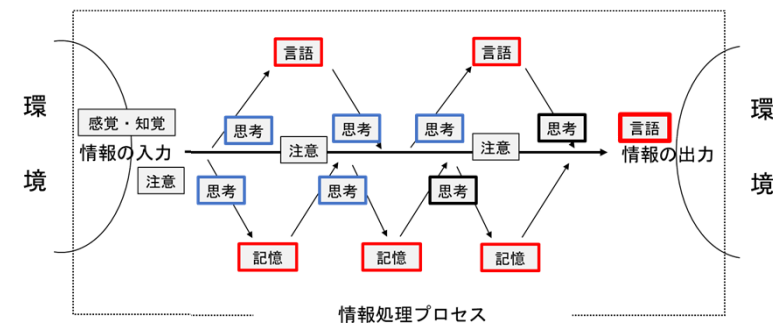
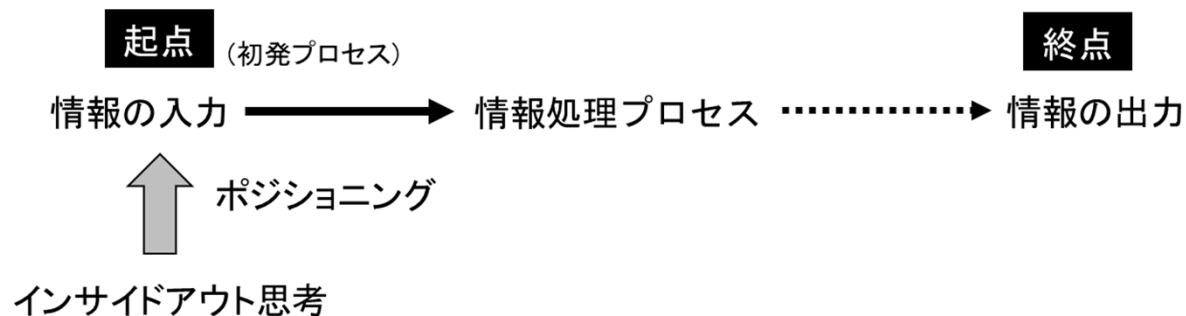
Inside-out

適応（アウトサイドイン）と個性化（インサイドアウト）の力学



【出典】 溝上慎一 (2010). 現代青年期の心理学—適応から自己形成の時代へ— 有斐閣選書

アウトサイドイン思考とインサイドアウト思考



これまでの代表的な思考論をアウトサイドイン思考として位置づける

- 推論（演繹・帰納・仮説推論）
- 問題解決 • 意思決定 • アナロジー
- 論理的思考 • 批判的思考

戻りましょう

【別紙】 学びに向かう力、人間性等の今後の整理イメージ（素案）

【現行の整理】

小学校学習指導要領総則解説（抜粋）

児童が「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」に関わる「学びに向かう力、人間性等」は、他の二つの柱をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素である。

（中略）

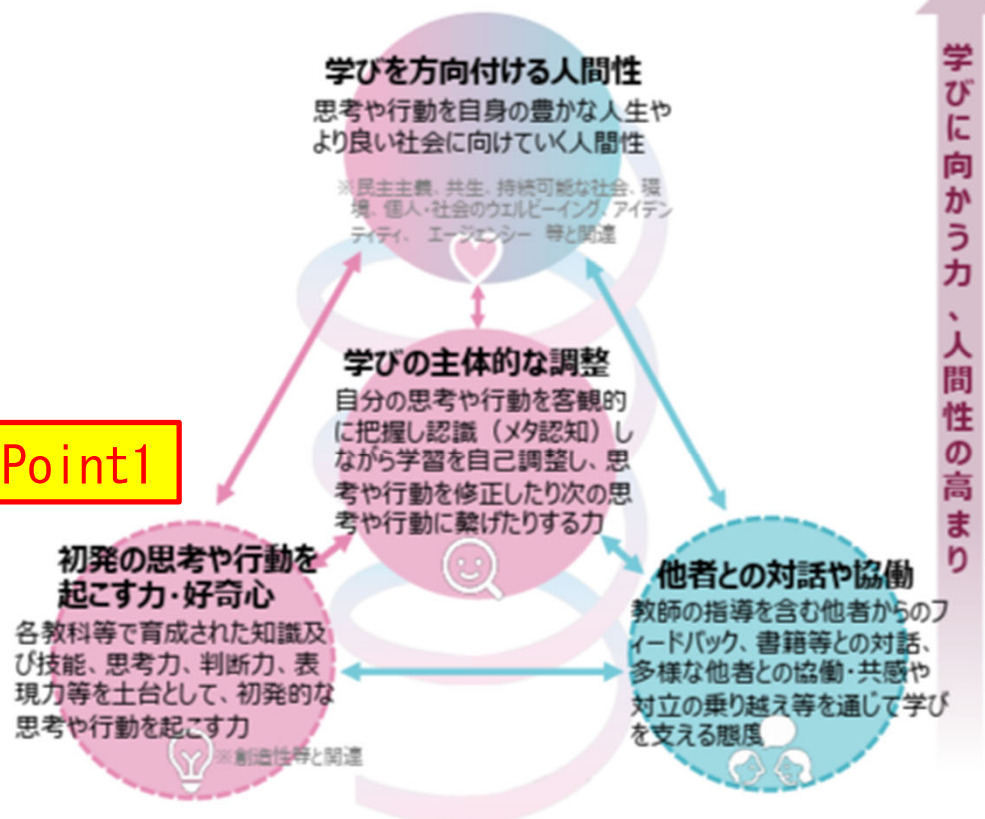
児童一人一人がよりよい社会や幸福な人生を切り拓いていくためには、主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力や、自己の感情や行動を統制する力、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度等が必要となる。これらは、自分の思考や行動を主体的に学習に取り組む態度も含めた学び客観的に把握し認識する、いわゆる「メタ認知」に関わる力を含むものである。こうした力は、社会や生活の中で児童が様々な困難に直面する可能性を低くしたり、直面した困難への対処方法を見いだしたりできるようにすることにつながる重要な力である。

また、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなどの人間性等に関するものも幅広く含まれる。

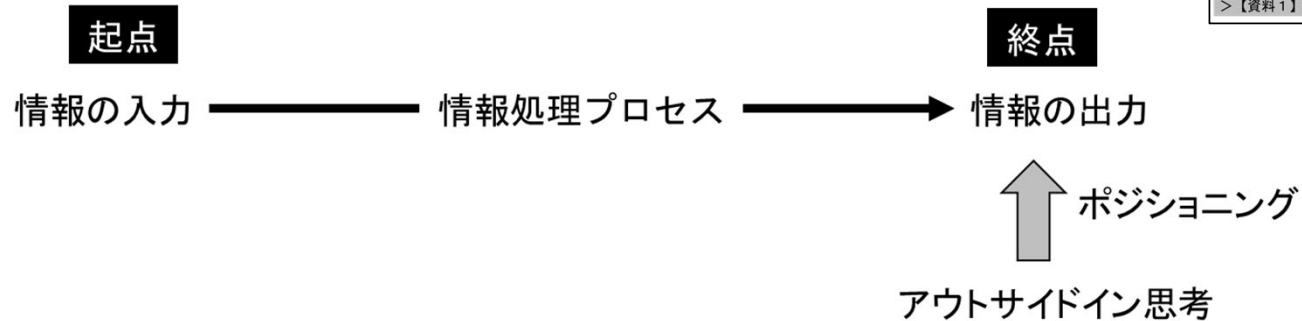
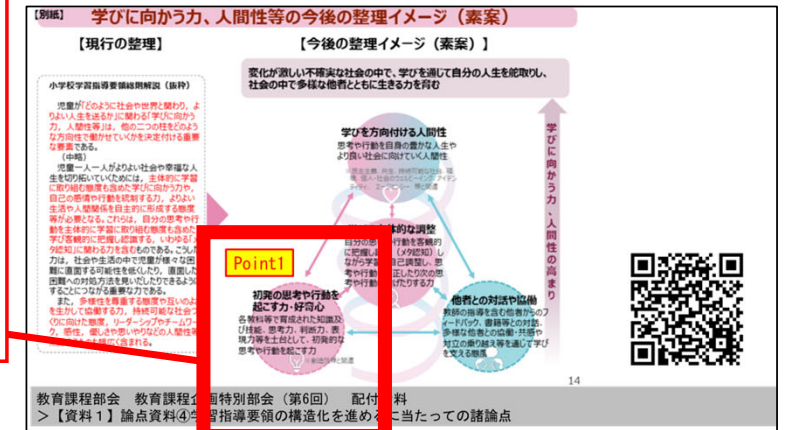
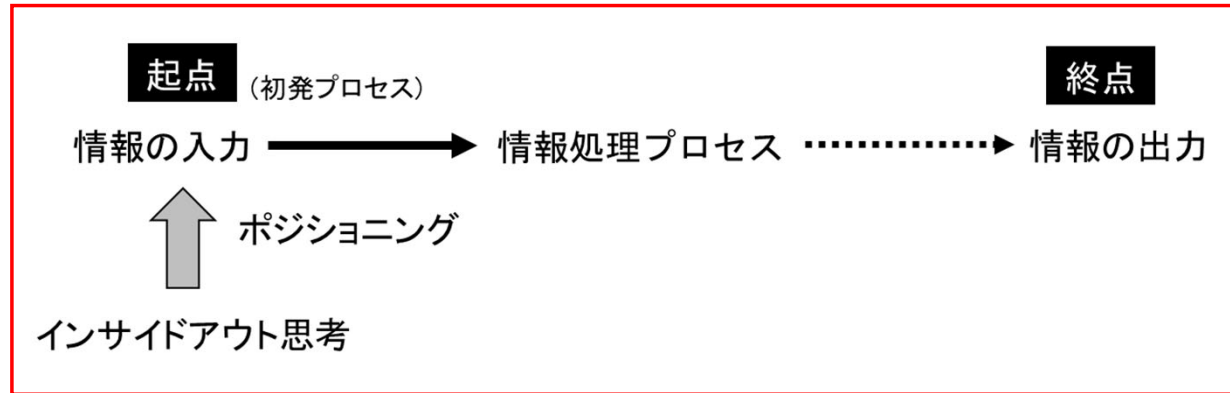
【今後の整理イメージ（素案）】

変化が激しい不確実な社会の中で、学びを通じて自分の人生を舵取りし、社会の中で多様な他者とともに生きる力を育む

Point1

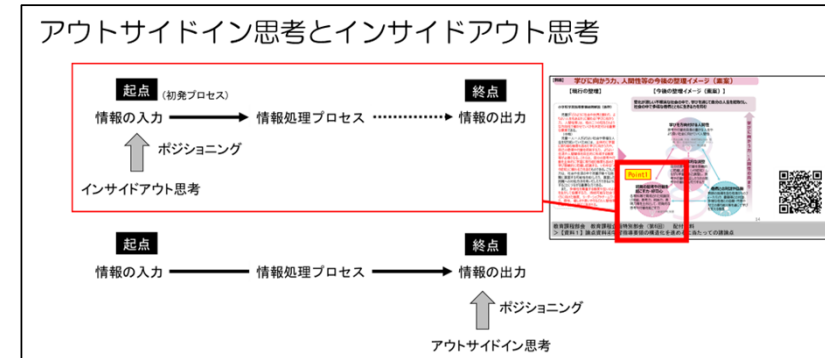


アウトサイドイン思考とインサイドアウト思考



インサイドアウト思考は「原初的な創造的思考」

- 多くの創造的思考の研究は、社会的に評価される、あるいは多くの人びとが発想しないユニークでオリジナルな思考に限定している。



- 「原初的な創造的思考」（＝インサイドアウト思考）は、天才や偉人のみが為せる思考と捉えるのではなく、一般の人びとが日常で普通に行う思考であると捉えたい。

マズローの「創造性」

わたくしはまもなく、自分が他の大多数の人びとと同じように、創造性を作品によって考えていたこと、第二に、無意識のうちに、どの画家、どの詩人、どの作曲家が創造生活が続いているかを考えて、暗々裡に創造性を、人間の努力する特定のつきなみの領域のみにかぎっていたことに、気づいたのである。理論家、芸術家、科学者、発明家、作家は創造的になることができる、他のだれもなり得ない、というように、無意識のうちに、わたくしは、創造性が、ある職業に独占するものと考えていたのであった。

（中略）しかしこれらの予想は、多くのわたくしの被験者によって裏切られた。たとえば、無教育で貧しく、終日家事に追いまわされている母親である一婦人を例にとると、彼女はこれらの慣例的な意味での創造的なことは、なにもしていなかった。にもかかわらず、素晴らしい料理人であり、母親であり、妻であり、主婦なのである。わずかのお金で、その家はともかくもつねに小奇麗であった。彼女は完全なおかみさんなのである。彼女のつくる食事は御馳走である。彼女のリンネル、銀食器、ガラス食器、せともの、家具に対する好みは、間違いがない。彼女はすべてのこれらの領域で、独創的で、斬新で、器用で、思いもよらないもので、発明的であった。わたくしはまさに彼女を、創造的と呼ばざるを得なかったのである。

【出典】マズロー, A. H. (著) 上田吉一 (訳) (1979). 完全なる人間—魂のめざすもの— 誠信書房



溝上慎一 (2023). インサイドアウト思考—創造的思考から個性的な学習・ライフの構築へ— 東信堂



第I部 インサイドアウト思考論

- 第1章 思考とは—認知科学を視座として
- 第2章 二つの思考様式
—インサイドアウト思考とアウトサイドイン思考
- 第3章 インサイドアウト思考の身に付け方
- 第4章 学校教育でも育成されるインサイドアウト思考
- 第5章 個人的な思考が社会的な思考となるために

第II部 個人化・多様化した現代社会における個性的なライフの構築

- 第6章 個性的なライフを構築するためのインサイドアウト思考
- 第7章 知識・技能が社会構造的に継承されなくなった現代で求められるインサイドアウト思考
- 最後に—ウェルビーイング論へ

ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

